日米
THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 9238-9239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENT

都會文化と農村文化

吾人はこの事實をもつとはつきり識るために農業經濟史を遡ること數千年、世界大戰前の英國の狀態を辿つて見る、大戰前英國は商工立國策を以て、世界の大工業國、世界の大商業國の目標に向つて進んだ、而して農村といふものは實に眼中に置かなかつた、隨つて農村は貧だ困窮に陥つた、農村よりも都會の文化は殆ど無き最高潮に達したが、世界大戰の洗禮を受て、英國は始めドイツもその他の國々も都會生命の根元たる商工のみを偏重し、生産を基本とする農村を閑却することは健全なる國家を樹立する所以でないことを悟り、爾來大いに農村問題が重要視せらるやうになつた。△

現代の資本主義社會組織の下では、農村文化といふものは殆ど出來ないものかも知れない、歴史に徴しても政治支配の組織が立憲政治の下に於ては、農村よりも都會の文化は殆ど無き最高潮に達したが、世界大戰の洗禮を受て、英國は始めドイツもその他の國々も都會生命の根元たる商工のみを偏重し、生産を基本とする農村を閑却することは健全なる國家を樹立する所以でないことを悟り、爾來大いに農村問題が重要視せらるやうになつた。△

斯くの如く都會の文化は殆ど無き最高潮に達したが、世界大戰の洗禮を受て、英國は始めドイツもその他の國々も都會生命の根元たる商工のみを偏重し、生産を基本とする農村を閑却することは健全なる國家を樹立する所以でないことを悟り、爾來大いに農村問題が重要視せらるやうになつた。△

現代の資本主義社會組織の下では、農村文化といふものは殆ど出來ないものかも知れない、歴史に徴しても政治支配の組織が立憲政治の下に於ては、農村よりも

醫學的大發見をドイツ學會で報告

中途米國醫界も視察で 吉村醫學博士の來桑

昨報のごとく、前廣島縣立病院の醫學士會で發表しておきましたが、ドイツでも是非發表して呉れてゐる醫學博士吉村喜作氏くれとのことで、今回の視察旅行を機會に同國學會の招聘に應じて、同夫人同伴のため來桑したが、米國では主として各地のクリニックとか病院御度等を視察するよしで、視察のため來桑したが、米國ではじたようなわけであります。また內務省の囑托をうけて各國の病院制度を調査し、來年三月日本に歸朝する筈。

ドイツでは博士が十四ヶ年間の長き苦心の結果發見した「定期性四肢麻痺症」の原因を發表するのであるとの。

吉村博士の談は、「廣島縣立病院長時代から研究の歩を進めてやうやく最近その病原を發見したので、本年三月日本に歸朝の式、日本式病院の可否を比較研究したり、同時にブレスクプション制の得失を調べるつもりですと語つてゐた。同氏夫人は嬢風の廣島縣出身であるから二十五歳以下の禁酒と公娼制の廢止を調査するつもりだ。

米國の小麥界を視察に渡米した

日清製粉社長の正田氏 米國に工場設置は虛報

故國製粉界の大立物、日清製粉の社長たる正田貞一郎氏は、同社の製粉會社として最重要なる米國および加州の視察のため、去る十五日横濱を出發、ホノルルを經由して桑港に着、目的は、米國における小麥農業狀態を視察するためにあつて、まづ當市より北路を思ひたつたとなり次第です。

カナダへ入る筈であるといふ。故國製粉界の實況について聞く、製粉原料の半分は外國から輸入、その半分の七割くらゐは米國とカナダから供給をうけてゐるのであります。米國およびカナダの小麥狀態を知るのは目下實行である。米國の狀態を調査して、米國の製粉會社の社長たる正田貞一郎氏は、同氏は、米國における小麥農業狀態を視察するつもりで海外視察をとのであります。君は大正三年に渡米して以來ひさしく渡米して、米國の狀態を調査して、米國の狀態を調査して、米國の狀態を調査

ジョウジ陛下 御快癒感謝儀式

本日招魂社で擧行さる

百萬の倫敦市民參加

（ロンドン六日）英國皇帝ジョウジ陛下及び皇后陛下には、御成婚後、本日で滿三十六年目を迎ゐさせられたので、各方面からの祝賀を受られたが、昨年來以來の御大患も最近御全快ばされ、漸く政務を總括のそばがあつたので、明七日には御病氣御快癒の大仕掛で感謝儀式が擧行されるはずである。

兩陛下には當日はモーニング・ドレスでオープンの馬車に御乘り、儀式場たるウエストミンスター・アベーに御行幸の御予定であるが、尤もこの御快癒の祝賀は、ズット前に擧行され、通鈴一時御容態迫輝の報に接し、今日まで延期されたのであつて、當日はロンドン市民數百萬人が參加し盛大な御儀式が行はれるとのことだと

塲所入手に苦心の 艦隊歡迎交驩大會

若し手に入られば 演藝大會に主力を注ぐ

八月十六日に桑港着の我が練習艦隊は、今太平洋の波濤を蹴つて嶺々、こなたアメリカに近づいて來るので、その歡迎準備に、各團體において着々歩を進めるが、豪富なプログラムをもつて大々的に一夜を乘組員一行の交歡の夕べとする方針で活動中である。

歡迎饗應は

大演藝會に力を注ぎ、是非大規模な野外交驩大會を開催したいとの考慮から、桑港日會は目下、桑港在留民の交歡のごとくその塲所に苦心中で、聞けば

金門公園スタヂアム、キーデースタヂアム、ユーイング・フィールド等、何れも他の會事員會を經て發表されることになつてるが、一方乘組員の歡迎饗應は、今年は洋食を勝手に用ふることに決定を見たはずで、詳細は十日前後に決定、塲所は海岸スートロ水泳場とし、今ケ所交渉中である。

歡迎饗應は、三日中に決定を見たはずで、詳細は十日前後に決定、塲所は海岸スートロ水泳場とし、今ケ所交渉中である。

日本食を

金門ホールで

コッセイ選手 英國選手權獲得

ボロトラを一蹴し去る

（ウイムブルドン六日）佛國時節柄この秋は一般から歡迎庭球界の大立物コッセイは、既に青年男女の申込は世庭球大會選手權決勝試合で、一名に達してゐる由だが、マチ同國人のボロトラと對戰したが、教授は山川コッセイの當り凄まじく、六對四、六對三、六對四のストレートで容易に勝ち、完全にトセフトで容易に勝ち、完全に同大會シングルの選手權を獲得するに至つた。

コ選手は一九二七年度の同地大會でも選手權を得た。今回の大會でもボロトラと同樣ストレートで大敗を蒙り世界庭球界はコッセイを提供するはずに佛國の大會に選手權たる栄冠に輝き、コストとチルデンの黄金時代を完全に實現し、同時にチルデンの影薄くなつたわけである。

日本食を

金門ホールで

右の塲所選定は、兩三日中に決定を見たはずで、詳細は十日前後に決定、塲所は海岸スートロ水泳場とし、今ケ所交渉中である。

歡迎饗應は、今年は洋食を勝手に用ふることに決定、塲所は金門ホールとし、多分日本食を用ふることになるべく。若し塲所の入手不可能ならば、一昨年のごとく充てる豪壮であるらしい。

明治大學雄辯部 遊説員が渡米

休暇を利用して世界遊説

（東京支社特報）明治大學雄辯部では從來學校の餘暇、各地を遊説することになつてゐるが、東都學生の雄辯界において既に定評のある人々であり、西は明鮮、南は臺灣にいたるまで、各部署をさだめて學生の遊説して歩いたが、今度は海外遊説の大計畫を立て、法科の學生で雄辯部の部長である長尾、九郎氏、同部員三木武夫氏の兩人が、

八月ごろハワイをふりだしに、漸次州各地から、米國全都在留同胞のあつまる所や米人學校にまで行つて日本の現狀を說明したり、日本青年の抱負を例もある、この金のうち今もなに名以内に限り徴集すべくそれは二千五百萬弗は州會計課に保管され區域をさだめて漸次發送してゐる。第二號からは「週刊日米」購讀申込者のみに配達さ米」購讀申込者の手續ハ一一、圖書一三、綴方一二手數品二

▲南加カンブトン學園　綴方一、書方一、繪畫三

▲南加モネタ學園　作文三、書方一、繪畫一八

▲北加レッドウッド學園　作文一、點

▲中加パイオラ學園　繪畫一、習字五

▲華州タコマ國語學校　習字三、作文三、習字一四

▲北海道札幌市公立豐平小學校　手工一、繪畫四、習字二、繪畫三

▲島根縣大社町東小學校　書方一、繪畫一三、綴方一二手數品二

▲南加モネタ學園　作文三、書方一、繪畫一八

▲北加マウン、テンピュー日本語學園作文四、圖畫一〇

▲南加モンテベロ第一學園　繪畫一八

▲北加レッドウッド學園　作文一、點

▲中加パイオラ學園　繪畫一、習字五

▲華州タコマ國語學校　習字三、作文三、習字一四

▲茨城縣鹿島郡日立鉱山小學校　手工一、繪畫四、習字二、繪畫三

▲北海道札幌市公立豐平小學校　書方一、繪畫一三、綴方一二手數品二

▲島根縣大社町東小學校　書方一、繪畫一三、綴方一二手數品二

▲南加カンブトン學園　綴方一、書方一、繪畫三

▲北加マウン、テンピュー日本語學園作文四、圖畫一〇

▲南加モンテベロ第一學園　繪畫一八

▲北加レッドウッド學園　作文一、點

▲中加パイオラ學園　繪畫一、習字五

▲華州タコマ國語學校　習字三、作文三、習字一四

間斷なく續く 學藝展出品

その後の分 四校八學園

何と云つても同胞の徒に鑑品展覽會は、近ごろ桑日會の男子のちやづくにつれ各地からの出品陳列とあつまり、日會お係を忙殺させてゐたが、その出品その後の分は左の通り

○、作文　二

▲五弗　嶋田久右門氏

▲五弗　御前虎楠氏

右の南氏より桑港佛教會へ寄附

いくら肥えても 牛乳を止めるな

フイッシュバイン氏の說

米國醫學雜誌記者フイッシュバイン氏は「人體の重量とその統制」と題する一書を公にしたが、その中に從來牛乳は人體を太らせるものとしてその營養價値を認められてゐるが、牛乳は同樣に體重を減ずる作用をなすものであるとの論じてゐる、一體人間の體重といふものは消化作用の結果であつて、多く食物をとつても充分消化しなければ決して體重は增加するものではない、非常に太るからといふのは牛乳を飲むことを止めるのが普通であるけれども、これは間違ひである。何故ら牛乳は他のいかなる食品からも得られない貴い價値を持つてゐるのであつて、これは人間が健康を維持するために必要缺くべからざるものである。されば體重がどうであつても牛乳は止めてはならないのである

佛教會特別寄附　萩原五郎氏

再渡米の妻子を迎へ 歸村の途轢死

自分の自動車から下車する所を自動車に

サンタクラヽの小野氏

（サンノゼ女性電話）サンタの傳何處かへか疾走し去つた、クラ、在住農業經營者城戸人小野氏は七人の子供ありその内二人は母が同伴して佛國再渡米したものであるが、サンタクラヽの自宅は五人の子供が待つてゐるので桑港で一泊もせず早く歸宅したが、井田總領事は知己であつたので一昨日川崎氏を總領事代理として少將邸へ派遣し、懸命の用意を申つたへた由である。少將は日本に對して非常な興味を持ち、

惨劇を起したものである。

自動車に轢かれ即死を遂げた件の自動車は不埼もものとも疾走し來た。

自動車の運轉手は、ハンドルを切り、非常に問題を水泳教授を始めることになつた。

水泳教授

昭和體育クラブ

來る十五日から

桑港昭和體育クラブでは、來る十五日から水泳部を公開し、今回、非常に問題を水泳教授を始めることになつた。

加州勞働局の 爭議調定

今年は就職率が多い

加州勞働統計局に報告せられた今年の勞働者に關する事件の數は二千七百七十一件であるが、この内二千四百百三十二は賃金に關係するもので、八百五千百八十八弗の金額を集めて完全に仕事をしたにもかゝわらず正當な報酬を得なかつた男女勞働者の數は、

わかつた事實もある。

加州勞働局はつねに雇者と被雇者の間におこる誤解をとくために努力してゐる。さる千九百二十四年中正當な賃金を支拂はないものとして、ジョージオスワルド（鉱業經營者）に命じ八千弗の支拂命令を執行した事例もある、この金のうち今もなに名以内に限り徴集すべくそれは區域をさだめて漸次發送し

學藝展出品

その後の分 四校八學園

▲茨城縣鹿島郡日立鉱山小學校　手工一、繪畫四、習字二、繪畫三

▲北海道札幌市公立豐平小學校　書方一、繪畫一三、綴方一二手數品二

▲島根縣大社町東小學校　書方一、繪畫一三、綴方一二手數品二

▲南加カンブトン學園　綴方一、書方一、繪畫三

▲北加マウン、テンピュー日本語學園作文四、圖畫一〇

▲南加モンテベロ第一學園　繪畫一八

▲北加レッドウッド學園　作文一、點

▲中加パイオラ學園　繪畫一、習字五

▲華州タコマ國語學校　習字三、作文三、習字一四

五明忠一郎氏 近く來桑

早川曲藝一座 開演は土、日の兩夜

スカッテシュ會館で

早大出身の雄辯家五明忠一郎氏は天洋丸にてホノルルに到着し旨本紙に通信あつたが約四日も本紙既報の豫定と同樣ものに到着した桑港をはじめサンピドロ港寄港のことも既報のごとくであるからこゝには省略するが、

乘込んで來た

早川曲藝一座

開演は土、日の兩夜

スカッテシュ會館で

一行廿七名さいふ大がゝりな早川曲藝團は、昨朝スタクトンから桑港へ乘込み來り、昨夜、ソンド、セントラル、ターミナルスーサター角のスカッテシュライト會館、賑々しく開演する

美形八名に男十二名の二十名プログラムは約十五分の奇術を幕間に出し魔術球乘り、足けい、ブランコ、ここ例の奇術を幕間に出し魔術鉄、針金渡り等にハラハラさせる仕組である。

一日目も出し物を替へ午後八時から

初日の昨日六日夜は、切論多數の觀客押しかけたが、今夕（七日）もおもなるプログラムを取かへ、桑港以來十三回打ちあつて、大人五十、小人五十、小人一弗、大人一弗、の結果、大人一弗、小人五十、の入場料は、大人一弗、小人五十、の入場料は、大人一弗、小人五十、の入場料は

株式

實物中直表

（六月十八日調・單位十錢）

▲銀行株

日銀	二百圓
正金	五九〇〇
朝鮮	一九六五
勸銀	五〇〇
臺銀	百圓
興業	五四〇〇
北海銀	五八六八
東農工	五九一
第一銀	二七七
安田銀	五〇〇
殖產銀	九二六
新三井	五〇二
	五一八
	九七五

▲保險株

東海上	五〇〇
帝國生	二一六五
東洋生	五〇〇
東京火	三五〇〇
日本火	六五〇〇
滿火災	四四七
共同火	二〇〇
	五七八
	二五二
	三一五

▲電鐵株

南鐵	百圓
東武鐵	五〇〇
京濱鐵	五〇〇
玉川鐵	五〇〇
京王鐵	五〇〇
王子鐵	五〇〇
京成鐵	五〇〇
小田急	二五〇
地下鐵	一五〇

▲電力瓦斯株

鬼怒川	五〇〇
九州水	五〇〇
北海電	五〇〇
臺灣電	五〇〇
吾妻川	五〇〇
東京發	五〇〇
大同電	五〇〇
東邦電	五〇〇
東瓦斯	五〇〇

▲船舶株

郵船	五〇〇
商船	五〇〇
川崎	四二〇
石川島	一七五
橫濱築	三〇〇
浦賀	四〇二

▲鐵業株

北海鐵	五〇〇
三菱礦	五〇〇
東洋礦	四二五
北海礦	三〇〇
新日石	二〇〇
東京鋼	五〇〇

▲紡績株

鐘紡	五〇〇
富士紡	五〇〇
日清紡	一〇一八
同新株	五〇〇
東洋紡	一八四〇
帝國麻	五〇〇
片倉	二五〇
帝國人造	一六二
京モス	四一二
祥モス	三一六
合同毛	二四〇
	二三六

▲砂糖株

日本糖	五〇〇
鹽水糖	五〇〇
臺灣糖	五〇〇
同新株	一二五
明治糖	五〇〇
同新株	二五〇
帝國糖	五〇〇
臺南糖	五〇〇

▲諸株式

日本麥	五〇〇
富士紙	五〇〇
王子紙	五〇〇
同新株	一〇五五
樺太工	五九一
帝國製	五〇〇
日產粉	四五五
人造肥	九八〇
淺野セ	四七七
弊城セ	五〇〇
自動車	五〇〇
日越	二五〇
新松屋	一四一三
白木屋	五〇〇
同新株	四四八
日活	三四五
日本氷	五三五
三共	六一八
新森永	七六〇
日魯	三四〇
	五〇〇
	六六〇

▲取引所信託株

東株	五〇〇
濱株	二五〇
大株	一三五七
代行株	五〇〇
安田信	一二五
住友信	一二五
千代田	一二五

東株	五〇〇
濱株	二五〇
大株	一三五七
代行株	五〇〇
安田信	一二五
住友信	一二五
千代田	一二五

日本麥	五〇〇
富士紙	五〇〇
王子紙	五〇〇
同新株	一〇五五
樺太工	五九一
帝國製	五〇〇
日產粉	四五五
人造肥	九八〇
淺野セ	四七七
弊城セ	五〇〇
自動車	五〇〇
日越	二五〇
新松屋	一四一三
白木屋	五〇〇
同新株	四四八
日活	三四五
日本氷	五三五
三共	六一八
新森永	七六〇
日魯	三四〇
	五〇〇
	六六〇

株式

政局不安を賣つた反動の買氣

新東株の大反發

六月十八日東京發

砂糖株强調

糖價は好轉上進後大した反動もなく好く高價を維持してゐるので砂糖株は引つづき强調を保ち、今も四五十錢高に商ひも可なる出來た。一時悲觀のドン底にあつた糖業も途を樂觀されるに至つた結果である、最近の値上がりは左の如く五月廿日現在（單位十錢）

			比較高
日糖	六六元	七	毛
鹽水	一三五	四	元
臺灣	三三	五六	元
明糖	六四	四二	

東株急反發

昨日後場に至り急に大買方面から買ひ出され短期筋は樂觀りの好勢を呈するに至つたため今日の長期は親一圓三十錢高、新二錢減して買ひ埋づめて來たため、今日は紡績株を除いては二十日の引高をうけ一圓七十錢高の二圓九十錢と呼つき西鶴の買に三圓五十錢まで上進したが鯨買なく好く高價を維持してゐるのみならず分密鯨は再び上がり坂大體二十圓以下は賣禁戒され二十圓以上はうつかり飛びつけぬ伸び得ないかもしれぬが買方に協調の保持されるのと臺灣における生產費の低下により大分前途を樂觀されるに至つた結果である、最近の値上がりは左の如く五月廿日現在（單位十錢）

			比較高
日糖	六六元	七	毛
鹽水	一三五	四	元
臺灣	三三	五六	元
明糖	六四	四二	

雜株に買ひ氣

株式投資の全くの縮せら折柄として雜株に對する買ひ氣は依然として起らないが最近有識者の間に株式投資の有望なるを說くものありたれば大資本家は所得稅の累進的に課せられるので手をだしかねてゐるが中以下の資產家は動令有利につくのでほつ―

ビーチ

品多からず、値段手堅くメーフラワー及アレキサンダー共箱一弗から一弗五十仙、ヘエルス走り少量出荷スタンダード箱一弗四十仙で賣れゆく

フイグス

出荷ライトで値段手堅くミツシヨンフラット六十五仙から九十仙、クレート一弗から一弗廿五ゥ。

桑港市場

七月一日

果物相場

標準卸値

單位仙

エプリカット ラグ	一一〇
アプル 箱	二五〇
ニユエタオン四テヤ	三三〇
ニユエピユター小中	二二〇
布哇 封度	一五〇
マクワ瓜スタンダード	二五〇
グレプフルツ南加 箱	三五〇
檸檬	四五〇
レモン	四〇〇
オレンヂ バレンシヤ	三〇〇
小	二五〇
桃	二五〇
クレート	二五〇
ドロワー	一五〇
ラスベリクレート 箱	六〇
ブラック 封度	一〇
チエリー	一〇
ピーチ クレート	一五〇
水瓜 封度	一〇
キヤンタロップ	一〇
ハネデユー	一五〇
葡萄 タムソン 封度	九
プラム サンタロサ	一五〇

桑港市況

七月六日

各品共供給へビーで市況鈍調

苺 メロン類弱氣

ストロベリー

荷三六チエストに五四三七クレート昨日より多く、取引活氣を帶びてバナー、ユコマー共ドロワー五十仙から六十五仙、最下は四十仙

ラスベリーは一二八一クレート箱クレート一弗から一弗四十仙。カラーの惡いのが八十仙

ブラック四〇七クレート着、クレート六十仙から八十五仙、ローガンベリー六十仙から八十仙動きは實直のところ。

メロン類

カンタロープ活潑に動くが値段は躍くジヤンボー一弗五十仙から一弗七十五仙、ブアー一弗廿五仙、ドロワー五十仙から六十五仙、スタンダード一弗から一弗五十仙、ポニークレート七十五仙から一弗十仙、フラット九十仙から一弗十仙、デラノものスタンダード一弗廿五仙から一弗七十五仙

ウオータメロン品質富にボンド二仙から二仙四分の一

ハチデユー、スタンダード一五十仙から一弗七十五仙驚で動きは活潑の方

野菜相場

ポンチ物	ピーツ	打
アスパラガス		打
キヤロット		打
トアニツプ		打
ラデシユ		打
青蔥	南瓜	打
ピンズ		打
カリフラワー		打
キヤベーヂ		百斤
ナス	ガーリック	斤
レタス	地方物	打
アスパラ	白	半袋
	赤	袋
	黃	袋
	ビー	半月灣
	ポテト	
	ワシントン	袋
	ユユスタツク	封度
	袋入野菜	二半
	ビーツ	
	キヤロット	
	トアニツプ	
	白	
	清	
ルバーブ		

蒼白き薔薇

[140]

中村武羅夫作

恩怨總て空し

【1】

ゆり子は、最初、自分の目を疑はずにはゐられなかつた。

『さうだ。びつくりしたよう。』

かういつてイスから立つたのは兄の直哉だつた。

兄の行方が分からなくなつてしまつてから、ゆり子はさぞくらゐ心配したかしれなかつた。

夢には悲觀の餘り、自殺でもしてしまつたのではないかと、極度の不安に襲はれることもあつた。それが見違へるやうな元氣になつて、身なりなどもちやんとして、突然來を現したのである。

ゆり子が、驚いたのも無理は無きの餘り、自分の目を疑はずにはゐられなかつたが、つぎの瞬間にはまぎれもない兄の直哉だといふことが分かると、うれしさの情が胸一ぱいになつて、思はずにはゐられなかつた。

直哉も深い感動を抑へることが出來なかつた。

『今朝　大阪から着いたばかりだ。』

直哉はつゞめて冷靜になつてイスに着きながらいつた。

『今まで大阪にゐらしつたのですか。』

ゆり子は兄さ向かひあつて、粗末なイスに着いた。

彼女は聞きたいこさや、話したいこさで、胸が一ぱいだつたが、すぐには何かにもいへなかつた。

『僕が大阪にゐたことは、知らなかつたのだらうね。』

『ねゝ。ちつとも。』

『何度か手紙もだしたのだが、いつても待せんがついて戻つて來るものだから、どうすることも出來なかつたのだ。』

『さうでせう。』と、ゆり子は肯いた。『お兄さまが、ぐらつしやらなくなつてから、直きに四谷の家を引つ越して、それからもあつちこつちと、方々引こしてまはつて、もつとも落着くことが出來なかつたのですもの！――』

『住居が轉々しばかりやなくお前がさんなに苦勞したかといふことは、僕にもよく分る。』

『あゝ、苦勞なんか仕方がないと思つてゐますけども。』

『日米の一』

要求廣告

人事欄、物件欄

總べてのチヤンスは日米の要求廣告にあります

御用命は電話で　プロスペクト〇二三八〇二三九

日米社廣告部

當社出張社員參上の節は何卒御用命を願ひます

出張社員

池田政得

福田卯吉

西本良祐

橋津茂一

優良株、割安株、拂込割株

詳細なる內容調書送呈

株式　公債

桑港本店

羅府出張所

博信社

511-519 Pacific Bldg., Market and 4th Sts., San Francisco, Calif. (Phone Douglas 3294-3295)

1174 Weller St., Los Angeles, Calif. Phone Mutual 5528

常に幸福なり

日米社廣告部

新聞廣告を利用する家庭は

鷄卵相場卸賣

エキストラ　三半
メデアム　三〇半

鷄肉卸商へ

ライブ桑港渡

レグホン三弗四〇ノ一箱ドル　三半
ルースター　一半

大阪藥店

公認調劑

無料送料

製藥　理學

ヴイタミンA　二弗　五弗

（ヨモンビン　トツルビン　スペマチン）　五〇〇　五〇〇　二五〇

活力素二〇〇　强精錠五〇〇　人參精三五〇

特製　五弗　强力用　十弗

有效　通經丸

確實　種々の藥を用ひて効果なく困りの方は早く此安全無害の通經丸をお用ひなさい

機能發育器　八弗　十四弗　十八弗

機能障害治療唯一の器械

治療　ゴリタール　名博士發見　五弗

新藥　此藥を內服すれば外用藥を用ふる必要なく急性、慢性の淋疾を迅速に根治す

安全　殺菌座藥　三十回分　二弗

確實　九十回分　五弗

身體に何等の害なく體溫により二三分間にて溶ひ、確實に其目的を達す

わきが　特製清腋散　一箱二弗

治療の新劑　三箱五弗

桑港ポスト街一五九四電話ウエスト一四五五

OSAKA DRUG CO.
1594 Post St., S. F. Calif.

新小說豫告

長篇「不壞の白珠」

菊池寬作

本紙四面所載の小說中村武羅夫氏の「蒼白き薔薇」は大好評を續いたします。次には菊池寬氏の待望の小說を連載します。題の「不壞の白珠」とは何であるか、「不壞の白珠」が人の戀の答へです。愛人同志が相思相愛の思ひを果たし得ず、互に別れて人の妻となり、人の良人となり、心にもない結婚生活に悩みつゝ相見ざる事數十年の後たまゝ相會ふのです。この結果はどうなるでせうか？菊池氏は之にさういふ結論を與へるでせうか？御愛讀を請ひます。

財界の不安人氣去る

金解禁の幽靈に脅かされて常軌を逸した證券市場は、銀行定期預金が四分五厘を唱へてゐる時代に一流株の利廻六分五厘乃至七分といふ不當な値頃を續けて居ます。然しこの安値はいつまでも續くものでないことは誰が見ても明かな所であります

果然、政友會內閣は民政黨內閣と代り世間は好感を以て此新政府を迎へ、財界の不安人氣は一掃され、證券市場は頓に活況を呈するに至り爲替も御承知の通り反撥しました

御躊躇は悔を殘します、時機の去らぬうち御出動を御奬めいたします

株式會社藤本證券

萊港支店

株式會社藤本ビルブローカー銀行姉妹會社

桑港モンゴメリー街二三五
電話　ガーフィールド二七二八―二七二九

同　羅府出張所
羅府市東四街三五三大
電話　エンゼルス八五三九

同　沙市代理店
H. Y. Hanafusa Co.
316 Maynard Ave.

南加版
支社電話（VA）八四一五

外務省が何故か旅券を下附しない

中學相撲選手の渡米行悩み

安田會頭今日領事代理を訪ふ

本年度の中等學生相撲大會優勝者の渡米に關し俄然外務省へは旅券の下附をなさずとの飛電が來たので安田會頭は本日午前領事を訪ひ高岡領事代理に、羅府側の意向を訪ひ高岡領事代理に、羅府側の意向を訪ひ高岡領事代理に、羅府側の意向

フレスノ（五日）

レーズン買入れにアウトサイド活躍

安定會社との協調は遂に成立せぬのか？

▲五弗づゝ 赤木普石工門 加來商店 坪井かしの 集洋食店 七村唐吉 出田倉造 八木雄俊 石田春太郎 五弗づゝ 國田竹次 植田玉場 山本料理店 峰谷藤吉 五十佳鐵次郎

▲三弗づゝ 岡崎三造 玉置田里 安齊 加來司

▲二弗五十仙 大屋

▲二弗づゝ 畑山 加來民治 小川 三崎 田原 片岡 三好 白井順一

▲一弗五十仙づつ 武田 松本 前原

▲一弗 無名

ハンフォード

▲長老教會 日曜禮拜 説教「勝利の生活」太田牧師、夕禮拜説教「キリストの證人」同上

六日土曜午後七時キリスト教青年會主催キングス郡立病院にて出張講演

ブラクストン

▲寄附 二十九日夜開催されたブラクストン學園の修業式および學藝會は盛會を極めレフレメントの饗應もあつたが當夜の寄附者は左の如し

▲五弗づゝ 川口完吾 中野勝美 三宅淺次郎 加來九十九 藤次郎 西谷廣助 三宅清一

▲二弗 松田吾平

▲一弗五十仙づつ 草澤正一 長谷川喜三 長谷川喜三 草澤正一 長谷川喜三 草澤正一 長谷川喜三 草澤正一

サクラメント（六日）

社會事業家の歡迎會と講演會

櫻府平野牧師會で

桑港でひらかれた世界社會事業家大會に日本より出席後米せる十一名のうち左記の諸氏五日櫻府シヤーシ、ホテルに投宿したが一行は加州知事を訪問餐ホアルサムスカフェーで催されし歓迎晩餐會に出席した

神戸市社會課長　木村義吉
兵庫縣參事會員　中村直吉
兵庫縣社會課長　増田甲子七
大阪少年裁判所判事　古岩井久年
横濱家庭學校長　有馬純彦
大阪博愛社長　細田たけ
廣島修道院副院長　北村孝義

歓迎會は出席約五十名、横田德市氏司會し村岡牧師の紹介基督教師曾て土方牧師、同信者青木練、水災練習、チーパーテーの儀式あつたこと更に六月二十二日に力大地諸氏の歓迎の辭あり來賓を代表して北村教義氏謝辭をのべ歓迎會は散會した

元典獄　有馬四郎助
横濱家庭學校長　有馬純彦
大阪博愛社長　細田たけ
廣島修道院副院長　北村孝義

講演會

ひきつゞき午後八時よりアメリカン、センター教會堂にて講演會催されたが聽衆約二百名原谷牧師司會し井名牧師祈禱をなゝ村岡牧師より桑港における大旨について牧師より終る後、神戸市社會課長中村直吉氏登壇して「日本の經濟事情」に關し國家財政の統計を挙げて悲觀論觀の兩說を比較說明し政治の墮落と不光明、思想の混亂狀態を指摘し、しかし自らは樂觀說をとり光明の道をたどるものであると在米同胞に永住の決心を慫慂した

▲舊典獄たる有馬四郎助翁は「四十年間の體驗」と題し日本の犯罪者について語り物質文明に伴なふ犯罪の增加は免れがたき現狀なりと日本の犯罪數は十萬人に對して千六百人の比率を示すと說き日本に於ける科學的設備よりも命の大切なゝ國柄と人なれば自動車の衝突で死にも憐死したほか同乘二人の子供は大怪我津玉の三氏あり型ごとく庶務會計の報告ありて後左の決議をなし散會

▲會費徴集の件　來る十一十二日の兩日參事務總出にて徴收すること

▲幹事ピクニックの件　七月十九日より二十七日まで九日の夏期休暇を承認す

▲幹留守中庶務は須藤氏出生死亡は秋木ドクタ取扱ふことに決定したり

活動寫眞

奈良大佛の

發聲ニュース映画

當市クーポ街のキヤピタル劇場に本六月から向ふ一週間奈良大佛の發聲映画が映寫されることはフオックス世界ニュースの部であるが「大佛に參詣する日本の子供」と題され東帝國の子供供達が七百年前の青銅の大佛を見物すべく數ヘられるとの說明附されるわけだから見物としてくれるとのことである

●歯科醫大會出席　來る月末より向ふ四日間桑港で開催する歯科醫大會に出席すべく當市カ科醫大會に出席すべく約一週間出發し四日帰國するとの

●漫談の大辻氏來櫻　漫談家として名聲ある大辻司郎氏は海老名春舟郎氏と共に一昨四日來櫻し浪花ホテルに投宿

●日曜の日基教會　午前十一時より日本人基教會「我が愛心と愛國」

●日曜の日基教會　午前十一時より共働會「我が愛心と愛國」

夏期學校修業式

櫻府キリスト教主催の夏期學校は五日をもつて一まづ終了し同時に夜七時より教會内において修業式が行はれた主任牧師ジンクス夫人出席し熱心な挨拶ありて終了し多くの愛らしい子供が代るがるスチジに現れて夏の學校で習つた同教會内に開校式をもよほし生徒の作製された陳列の書畫、寫眞、繪画、樂器の成績等あり父兄の來會を希望すると

獨立祭の怪我人

子供の火傷が一番

落下傘が開かず慘死

七月四日の獨立祭は毎年忙はしい日であるが子供の盛んに使用する安那煙火の為多數の子供が大小の怪我をした、このほか自動車の衝突等もあはすれば仲々事件は多かつた

▲午後七時廿分落下傘の離れ業を演ずんとして傘の頭が飛行機のウイングにからまれ、ひとゝ村岡牧師より桑港における大旨について牧師より終る後、神戸市社會課長中村直吉氏登壇して「日本の經濟事情」に關し國家財政の統計を挙げて悲觀論觀の兩說を比較說明し政治の墮落と不光明、思想の混亂狀態を指摘し、しかし自らは樂觀說をとり光明の道をたどるものであると在米同胞に永住の決心を慫慂した

▲舊典獄たる有馬四郎助翁は「四十年間の體驗」と題し日本の犯罪者について語り物質文明に伴なふ犯罪の增加は免れがたき現狀なりと日本の犯罪數は十萬人に對して千六百人の比率を示すと說き日本に於ける科學的設備よりも命の大切なゝ國柄と人なれば自動車の衝突で死にも憐死したほか同乘二人の子供は大怪我津玉の三氏あり型ごとく庶務會計の報告ありて後左の決議をなし散會

▲會費徴集の件　來る十一十二日の兩日參事務總出にて徴收すること

▲幹事ピクニックの件　七月十九日より二十七日まで九日の夏期休暇を承認す

▲幹留守中庶務は須藤氏出生死亡は秋木ドクタ取扱ふことに決定したり

日會參事會

須藤、高橋、板家、藤井、藤重、秋本、上利、塚原、松本の諸氏にて委任者石川、宮田氏出席し

活動の夕七八日

本夜より須市朝日座にて北都寶藏遊一行主催の活動寫眞もよほさる畫題は「金王攫夷」で日活製のものでなかゝり費用の多い大作である

●抜群來須　南滿鐵道會社鐵道農事試驗場の技師村越信夫氏利學國鐵繁の爲來須六日須藤氏下學國鐵繁の爲來須六日須藤氏代はるスチ

三星堂大うり出し

永山天龍氏の經營する貴金屬商店はなか〳〵の好評なるが本月はじめよりの大安賣のに大多忙をきはめをれり原價の三割引きで提供しつゝあり

●鈴木蓮氏滯須　須市に育つた二世の光輝で現在東北大學生物の國氏は帝國平和より來須し櫻府の相撲に參加し本日來須横山眼医方に滯在中

●櫻井夫人良好　セントジョセフ病院へ入院したる櫻井未氏夫人は一昨日退院し目下自宅にて養生中なるが統過良好であるワツツンビル

●大入り滿員の演藝會　青年會は去る四日の獨立記念夜催しされたが非常なる人氣で大入り滿員で大成功あつた

●鶴は大勝　新進のサンマテシ日本人軍をむかへ青年軍は十九對五にて大勝した、サンマテン軍は何分組織して間のないことゝて守備にチーム、ラクなく失策續出打撃方面で打撃ふるはず全然華村敵となかつた、サ軍のうち有望日へしは山越三塁、田川捕手位で他には見るべき選手もなかつたが、されはスコア傾者せず最後まで堂々活年の元氣を失はず奮闘せしことは、やはり力量の滑沈しながら當地青年軍の大いにまなぶべきである

シヤトル（四日）

テー山本

出獄を許さる

數年前ウエラー街においてテー山本を殺害し十ケ年以上二十年の禁錮處せられワラ〳〵州立監獄署に服役中であつたテー山本は獄則をまもり行狀よろしき廉をみとめられ知事より實刑をゆるされたりと

加奈陀より歸米者は

一昨日より實施された移民細則により米國人及米國在留の外國人にして カナダに一時旅行し米國へかへる當合に出發港において移民官のわたすカードに規定の事項を書きこみ移民官にわたすことになつた、カナダ旅行者の他のことについては從前とこゝに變なしと移民局安藤課は語つてゐる

日本選手來らず

來る月廿二日から七日まで加州ヘワヲル、ビーチにおいて開催せらるゝユー、エス、クーエーアマチュア、ゴルフ伊勢戦、日火、金、兩日　夜七時より　八時迄

營業時間　午前九時より　午後五時迄

森孃殺し裁判は九月

去る土曜日ファイフで淺川氏のところにて市エプ洋食店主人のエプに對する殺判は九月開廷陪審裁判に附せらるゝはやである、檢事局は昨日正式に殺人罪として起訴するにいたつて

念の入つた青年の自殺

南州四街の自宅でコーチさよ十九歳、華大學生、自殺し遺言を書き置いて毒藥をのみ、ギヤスをだし放しにした室で自分の動脈を切るといふ念のいつて自殺をとげた、彼は非常に尤も安價で親切丁寧に努力致します

同胞學生の告別演說

ファイフ高校を卒業せる杉岡君は本年卒業し卒業式には成績で本年卒業し卒業式には他代表として告別演說をした

ファイフの杉岡第代次氏の息子は過去四年間同校で平均點九十一點を得今回同校よりの最高スカラシップをねて州立大學に入學するはずであるとの

疼疾

直腸專門醫師

は切開せずして全治させます

G.W. Fuller, M.D.

ジーエー　ダブリユー　フラー

御禮廣告

故　光三郎

櫻府　光八郎

實兄　屋部光保

サクラメント

親戚總代　比嘉

友人代表　宮城

同　伊佐

同　友善

同　宮島

賣物

御禮廣告

私儀永らく病氣入院中は各位の御厚情を厚ふし有り難く御禮申上候、幸ひ輕快に相向ひ候に付き退院仕り海濱に轉地仕る事と相成り候間御禮旁々御知らせ申上候

ウオナヅグローブ

林辰次郎

種子

カリフラワー　レタス　ユーヨーク　スペシヤル古種　其他日米各種子

特撰　早生ス、ボール

ホリスター種子物園

Hollister Seed Co.

P.O. Box 108 Hollister, Cal.

櫻府寫眞師

大山寫眞館

黒河寫眞館

櫻府寫眞情報

國際寫眞情報は第二世教育高級畫報なり毎月一回發行一ヶ年十二冊

O.K. 家具

櫻府公認醫師

井木醫院

橋田慶通

宮崎秀太郎

柴太郎

山尾醫院

船橋商店

櫻府飾屋

櫻府

櫻府

櫻府

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10664. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, JULY 7, 1929. Copyright 1928 By The Japanese American News Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

S.F. Boy Saves Two Girls In River Rescue

Heroic Deed Thrills Crowd At Russian River July 4

The Independence Day was marked by a daring rescue when Teruo Kasuga, a 17-year old Y. M. C. A. swimmer of San Francisco, plunged into the water of Russian River and saved the lives of two Japanese girls from drowning.

Responding to a cry of distress from a group of girls who had strayed too far into the current, Kasuga rushed to their aid and with a few strong strokes brought a six-year-old girl safely to the shore. In the meanwhile the crowd which had collected on the shore succeeded in pulling out two others, but one other victim, Miss Tokiye Miyamoto of Santa Rosa, was still struggling in the water.

Though tired by the previous rescue, Kasuga re-entered the water and fought for her life. It was a valiant struggle, in which the river curent proved great obstacle, but he succeeded in bringing her ashore.

To the spectators the victim was apparently dead. But Kasuga immediately administered artificial respiration, and after much care she was finally brought back to consciousness. She was then sent across to the other side of the river, where a physician was summoned.

Others who were saved are Suma Kai, Shige Kai, and a boy, all Santa Rosa residents.

Teruo Kasuga is one of the best swimmers of the San Francisco Y. M. C. A. He learned life saving and first aid from Victor Yamakawa, an instructor of the San Francisco chapter of the American Red Cross. Kasuga, it will be recalled, was one of the stars in the dramatic success of the season, "The Father Returns," given by the Japanese Y. M. C. A. recently.

Judd, New Hawaii Governor, Gives Inaugural Address

Special to The Japanese American News

HONOLULU, July 5—Lawrence M. Judd, business man of Honolulu, became Governor of Hawaii at the Territorial Capitol.

In a brief inaugural address Judd reviewed the progress of Hawaii, saying that the small home owner was "the very foundation of the government." One of the chief functions of government he said, is encouragement of industry to the end that universal prosperity shall prevail.

The Governor pledged himself to work for equalization of taxes, for better educational facilities and for the care of unfortunates.

Wallace R. Farrington, retiring after eight years as Governor, will become president and publisher of the Honolulu Star-Bulletin.

Perry Ship Takes Honor for Japanese In Stockton Parade

Special to The Japanese American News

STOCKTON, July 6—The people of Stockton observed the most impressive and colorful Fourth of July celebration last Thursday, under the auspices of Karl Ross Post of the American Legion of this city.

Stockton has rarely witnessed a more magnificent parade than the one which wended its way through the business section of the city. Many beautifully decorated floats and hundreds of uniformed marchers made the procession one which has not been surpassed for splendor in this city in many years. Each of the floats was an exquisite piece of artistry making a difficult problem for the judges.

The awards were finally determined, however, with the local Japanese Association as the winner of the first prize for the most beautifully decorated floats. The design was a reproduction of a ship bearing the tableau of Commodore Perry visiting Japan in 1854. All who witnessed the parade are probably unanimous in the judges' decision that this was the most beautiful float.

Consul Sees Huge Advance In Japan, Manila Commerce

Special to The Japanese American News

MANILA—The volume of trade between Japan and the Philippine Islands will be doubled within a decade, in the belief of Mr. Saichiro Koshida, newly arrived Japanese Consul-General in Manila.

Mr. Koshida, who was Japanese Consul-General in Buenos Aires before his assignment to the Philippines, upon his arrival here declared it to be "the height of stupidity for Oriental countries not to be on friendly terms with each other."

CABINET SET FOR PARLEY

New Liberal Premier Expected To Favor Navy Reduction

WASHNGITON, July 5—Administration changes in Japan, Great Britain and the United States—the three leading naval powers—are regarded in official and diplomatic circles here as having brought to the fore viewpoints favourable to naval reductions.

Since President Hoover was inaugurated the leadership in pressing not only for a world-wide policy of naval limitation, but for reduction in fighting fleets, no matter how drastic. In connection with this development, Prime Minister Macdonald of England promptly initiated conversations with Ambassador Dawes looking toward a basis of agreement on the naval question between the two major naval powers.

MAY TAKE ACTIVE PART

The Liberal government to Premier Yuko Hamaguchi, who has just taken office, is expected by diplomatic and official circles to play an astive part in any disarmament negotiations.

Premier Hamaguchi is a civilian. It was believed here that the present premier, in view of his civilian background, would look with considerable favor upon a conference of "statesmen" rather than technicians for final discussion of the naval question.

The most intimate problem which each of the three administrations has before it is the working out of a formula on the basis of the "yardstick" theory urged by Hugh S. Gibson, American ambassador to Belgium, at the recent session of the League of Nations preparatory disarmament commission.

WOULD MEASURE STRENGTH

Under this theory the naval strength of the several naval powers would be measured by relative considerations of age, armor, speed and other such factors in the ships of each category.

High administration officials here have decided that it would be best for the United States, since the Washington government took the initiative in proposing the plan, to await developments among the other naval powers. After the various formulae, a meeting of the commission will be summoned, probably in agreement on the technical aspects of the situation. This will probably be followed by a meeting of statesmen to agree upon a final solution of the problem from a political viewpoint.

SAC'TO WINS SUMO TITLE IN TOURNEY

1000 Fans Crowd Yolo Ground To Witness July 4 Meet

Special to The Japanese American News

SACRAMENTO, July 6—Beneath the sweltering heat of 105 degress a crowd of one thousand spectators assembled around the huge "dohyo" in the Yolo grounds on the Fourth of July and cheered themselves hoarse when the Capital City wrestlers won the seventh Northern California Sumo tournament.

Competing in a field of four teams of the region, the Sacramento once again captured the coveted championship banner by one point over their nearest competitor, the San Jose delegatioin. Sacramento attained 20 points, while San Jose possessed 19 points at the end of the tournament. The score:

Sacramento	20
San Jose	19
San Francisco	13
Fresno	8

For the individual honors Kosahi of San Jose took the laurels. Having defeated four of his opponents in five rounds, he easily entered the finals. His final foe, a strong Sacramento wrestler Kosadake, gave him a brisk competition, but the darling of San Jose won the day.

In the "gonin-nuki" event (five successive victories), Ryumonzan of San Jose was the victor. In the three successive victory bouts the crown was won by Suzuki of Courtland. Kitazumi carried away the four successive victory bout for Sacramento.

100 ATTEND IDA'S PARTY

Arima Talks At Fete Given To Parley Delegates

One hundred of the several thousand delegates to the National Conference of Social Workers held in this city were the guests of Consul General Morikazu Ida Tuesday afternoon at a tea in his official residence on Laguna street. The delegates from Japan were included among the guests.

Following the welcome speech by the host, S. Arima of the Japanese delegation responded in behalf of the guests. Misses Fujita and Murata then entertained with several vocal selections. They were accompanied on the piano by Miss Sano. Tsuneo Fukushima, the popular San Francisco harmonica artist, played several of his favorite selections.

Following the entertainment, the guests were served refreshments. A delightful period of informal conversation followed, before the disbanding of the party.

THE WEATHER

SUNDAY—Fair and Mild.

Third Time Golf Champion

Bobby Jones, who may go to Japan in the near future, is here seen accepting the U. S. Open Golf Championship Cup for the third time after defeating Al Espinosa in the play-off with 23 strokes up. Photo shows, left to right, Al Espinosa, runner-up, Findley S. Douglas, president of the U. S. Golf Association, and Bobby Jones, the champion.

SAC'TO HOST TO EXPERTS

Social Workers From Japan Study State Institutions

SACRAMENTO, July—Headed by K. Matsuda, director of the department of social welfare, Kobe, and T. Koiwari, Osaka municipal judge, a delegation of Japanese educators and officials today are studying state rehabitation methods employed at Preston school of industry.

Received in Sacramento by Director of Finance A. R. Heron, acting for Governor Young, the party inspected Folsom Prison, and will proceed to northern California for inspection of other state institutions there.

* * * * * * * OUR JUNIOR SECTION * * * * * * *

BIRTHDAY GREETINGS

July 7—Mary Miyaji, Ruth Tazoi

——Junior——

July 8—Mary T. Harada, Norio Morimoto, S. K. Sasaki, Nobori Mori.

There are so many jolly, happy, pleasant things that are good ideas for stories. Let's keep to them.

Fumiye's jokes:

——Junior——

(The Scotchman again! Did any of you hear the Caledonian Band in San Francisco the morning of the Fourth? The kilted Scotchmen were very generous with their stirring bagpipe music.)

——Junior——

How was the Grand Canyon formed?

Ans. A Scotchman dropped a penny in a gopher hole.

——Junior——

Guide: These ruins are 20,000 years old.

Traveler: Aw, go on. It's only 1929.

——Junior——

From Muneko we have this riddle:

Round like an apple,
Shaped like a pear,
Split into half,
And covered with hair.
Ans. Eye.

I wonder what the "split into half" part means, Muneko. Maybe it means that only half can be seen. And here is another joke about a Scotchman's stinginess. Even Scotch people themselves joke about it, so I suppose they dont' mind if we do. But it is not a bad idea to remember sometimes that Scotland has many generous people in it too, just as all countries have.

One day a Scotchman went into Grocery man: Good eggs 50 cents a grocery store and asked the man, "How much are eggs?"

a dozen. Cracked eggs 48 cents a dozen.

Scotchman: Crack me a dozen.

UPSET SEEN IN NET MEET

Shimizu-AsakuraPair Wins Pacific Coast Doubles Crown

Staging a plucky comeback, Willie Shimizu, for years considered a "has been," appeared in the limelight again on July 4, at the local Golden Gate courts to win the Pacific Coast doubles championship with his team-mate, Asakura, another veteran of the Daiichi Club. Shimizu is one of the strong contenders in the singles tournament Sunday.

The doubles matches were hotly contested, with many seeded players out for the title. The final round brought the victors face to face with another strong combination consisting of Kitsuda and Komiyama of the San Francisco Tennis Association. The Shimizu-Asakura team experienced no difficulty in trouncing the latter in three straight sets, by 6-4, 7-5, 6-2.

KITSUDA VS KOMIYAMA

The singles reached the semi-finals stage with an upset. Kitsuda, winner of the recent North vs. South tourney at Los Angeles, will be pitted against Komiyama today (Sunday) at the Golden Gate courts. These playoffs will be staged from 1 p. m.

Willie Shimizu will meet Shimura, the present Northern California title holder. Asakura will challenge the winner of the Shimura-Shimizu round. The winner of this match will in turn play the victor of the Kitsuda-Komiyama set to decide the title.

The result of the July 4 round follows:

The result of the Holiday's round: Izumi (L. A.) def. Naramura, 7-5, 1-6, 7-5.

Komiyama def. N. Shimura, 6-4, 6-3.

M. Shimura def. Kawasaki (L. A.), 4-6, 6-3, 6-1.

Asakura def. Izumi (L. A.), 6-0, 7-5.

Kitsuda-Komiyama def. Kawasaki-Izumi, 6-1, 6-0.

Asakura-Shimizu def. Shimura Brothers, 6-4, 75

FINALS

Asakura-Shimizu def. Kitsuda-Komiyama, 6-4, 7-5, 62.

YWBA GIRLS PLAN MEET IN APPLE CITY

Lectures, Excursions To Mark Five-Day Buddhist Parley

Special to The Japanese American News

WATSONVILLE, July 6—The annual summer conference of the Y. W. B. A. Federation and the Buddhist Sunday School teachers will be held in this city for five days commencing July 23 in the local Buddhist Temple.

The morning session will be devoted mostly to the discussion od Sunday school methods and to lectures on Buddhism, while the afternoon will be taken up with business matters pertaining to the Young Women's Buddhist Association, its activities, and program.

Mingled with serious study will be delightful excursions to the neighboring cities and a field meet by the girls. On the first day the delegates, who will assemble here from all over the state, will be given a welcome by the Watsonville Buddhist Temple. Other items of the day will be the registration, opening ceremony, discussions, and a forum for the visiting priests.

On the second, July 24, the feature event will be the excursion to Monterey. On the way they wil stop at Salinas Buddhist Temple, where a welcome is in store for the delegates. At Monterey they will be given a lecture, and then a sight-seeing tour of the neighboring points of interest will take up the remainder of the day.

A field tournament for the Y. W. B. A. girls as well as a visit to Santa Cruz will be the highpoints of July 25. The morning will be devoted to lectures and discussions.

The Y. W. B. A. Federation will hold its annual election of officers on the following day,July 26, followed by a gala entertainment. There will also be a tea party given by the Buddhist Federation. Discussions and closing exercises will mark the last day, July 27.

From San Francisco eight or nine Y. W. B. A. girls, led by Miss Itoko Tsukada, will attend the parley. Other cities such as Stockton, Fresno, Sacramento, Los Angeles, and other leading Japanese centers are expected to send large delegations. Last year there were about a hundred attending the parley, and the prospects this year indicate that this number will be bettered.

Shigeo Soga, Son Of Hawaii Editor, Receives Degree

HONOLULU, July 6—Shigeo Soga, son of the editor of The Nippu Jiji, graduated from the School of Journalism of the University of Missouri on June 5, with the degree of Bachelor of Journalism, according to word received here from him. He was the only citizen of Japanese descent among the graduates from the school which numbered over a hundred.

Prince Chichibu To Attend Camp For Sac'o Troops

Special to The Japanese American News

TOKYO, July 6—His Imperial Highness Prince Chichibu, brother of the Emperor, will attend the international Boy Scout camp which will be held at Kusakabe on the banks of the famous Fuyefuki River in Yamanishi prefecture at the foot of Mt. Fuji. The Sacramento Japanese Boy Scouts, which are now on a tour of this country, will camp there with the troops from Siam and with select troops from this country. The affair will be held for three days during the latter part of this month.

MAKE HOMES IN AMERICA

So Says Parley Delegate at Sacramento Mass Meeting

Special to The Japanese American News

SACRAMENTO, July —The Japanese people in California were highly praised for their courageous spirit by the social workers of Japan who made speeches last Friday night at the American Center Church. They came to Sacramento at the invitation of the Sacramento Valley Pastors' Association.

"I was preparing myself before I came to attend the Social Workers Conference to express some words of comfort and sympathy to the Japanese people in California, because I had the impression that the Japanese are pretty well tired out by the constant anti-Japanese movements and propaganda carried on by the whites. But I found that such sympathy is not needed. On the contrary, I was greatly encouraged to see our people still fighting like good pioneers," said Naokichi Nakamura, a Kobe philanthropist, in the course of his talk last Friday night. He further advised fellow Japanese to make permanent homes in this glorious state of California and build up a greater economic foundation for the second generation.

Arima-san, a great prison reformer of Japan, spoke in his low but emphatic tone of voice about his life of forty-three years with the scums of society in Japan. He closed with words that come only from the man fully convinced of what he speaks, that a good deed done in this world is never done in vain. He also praised the pioneering spirit of the Japanese in California.

H. Arima, son of the prison-reformer, delivered an address in which he said the goal of all social work is the "love of mankind" and not of petty provincialism.

A choir from the Presbyterian Church gave a few selections in between the talks.

There were eleven delegates from Japan to the Social Workers' Conference which closed in San Francisco last Wednesday.

Santa Clara Father Killed By Hit-Runner

Widow and 7 Children Mourn Loss of Japanese Farmer

Special to The Japanese American News

SAN JOSE, July 6—Seven fatherless children and a widow are today mourning the death of Manshiro Ono, a farmer in Santa Clara, who was killed early this morning in one of the most poignant auto tragedies of recent time. The hit-runner who was responsible for the deed vanished and is still eluding the police.

Home after a years' sojourn in Japan, her native land, the wife of Ono arrived in San Francisco yesterday noon aboard the N. Y. K. liner Tenyo Maru. Leaving his five children behind, the loving husband departed on his automobile to welcome his wife and the two other small children who were with their mother. There was a family reunion in San Francisco, a little rejoicing, and a happy trip around Golden Gate and other points of interest crowned the day. Then, about midnight, they started for Santa Clara lest the little ones at home on the farm might be lonely.

When nearing their home, they were stopped on the highway by a flat tire. Ono got down from the machine and began to fix the tire, when from out of the dark another auto flashed by, hurling and killing the Japanese. There was a little scream of horror from the wife, and the hit-runner's auto was swallowed in the darkness. That was about two o'clock this morning.

The police today, in their desperate efforts to apprehend the perpetrator of this most outrageous crime, are combing the highways and byways of the entire county, but no arrest is yet reported. Meanwhile, the five children who had stayed at home to wait the homecoming were told of the accident by their mother.

The inquest will be held Monday.

Mitsui House Of Japan Boasts Of Huge Safe Vault

What is claimed to be the world's largest safe deposit vault has been installed in the basement of the new house of Mitsui, considered equally one of the largest in the world of its kind, which was formally dedicated on June 15 in Tokyo.

The building occupies an area of 1,700 tsubo ground space, is of French Renaissance in style and stands five stories high, beneath which are two stories of basement. Costing as it did in the neighborhood of ¥30,000,000, the structure promises to be one of the most imposing commercial houses yet built in the Empire.

The safe deposit vault alone occupies 96 tsubo of the basement space. It is covered on all sides by ferro-concrete walls, 2.5 feet thick, lined with three-ply steel plates each 2. 5 inches thick. It embraces 6,338 drawers.

The circular door alone is said to weigh 50 tons, and is operated by electricity. Every thought and care are exercised in its construction, so as to insure utmost safety from burglary, such as automatic alarm devices and reflecting mirrors.

LATE COUNT SHIMPEI GOTO, A METEORIC STATESMAN

Brilliant Tributes To Memory Of One Of The Leading Lights of Modern Japan

By YAMATO CHUYO

(Continued from yesterday

After the Russo-Japanese war he persuaded Prince Ito to go to Russia to make a beginning of this preparation; but unfortunately the Prince fell at the hand of an assassin at Harbin. He then had Prince Katsura to start on the same mission; but his Prince also had to come home prematurely owing to the critical illness of the Emperor Meiji, and to die himself not very long afterward.

So far as Japan was concerned the first step in the preparation must be a definite plan of her Chinese politics and for this end there must be an understanding with Russia. So thought the count. Thus it was that he invited Joffre to come to Japan in 1923. Prior to this, when the Count was in London in 1919, he had a talk with Colonel House, the confidante of President Wilson, and an agreement was reached that he should call on Wilson at Washington in October, to come to an understanding over China. That part of the program had to be abandoned in consequence of a sudden filness with which Mr. Wilson was seized and his consequent death. The Count himself is now dead and with his is buried his dream No. 1.

HIS DREAMS

The count's other dream was the reconstruction of Japan after the world war, and he wanted to carry out a general mobilization of the moral and material powers of the Japanese race. He had this scheme forming in his mind as far back as 1919 and in that year he had an interview with Mr. Hoover to whom he broached his idea. Mr. Hoover has now become the President of the United States and has set about reconstructing America, but alas! Count Goto is no more.

For another phase of the late statesman, Tsurumi mentions the Count's enterprise and undertaking motto as follows "When things go on well, any amount of ideas comes to you and you need not think of that contingency. When things go bad, no idea comes to you. You must not therefore start your work until you have thought out how you should face the worst."

SYMPATHETIC

In conclusion Mr. Tsurumi says that the count was a man of tears in its best sense, really deserving persons never missing a friend in him, and he was, besides, always forgetful of wrongs done him by others.

Dr. Nitobe—who does not know Dr. Nitobe?—giving his reminiscences of Count Goto in the Asahi, agree with Mr. Tsurumi in thinking that he was a man of feeling and forgiveness.

Some thirty years ago Dr. Nitobe and Count Goto made together a tour of Europe. One day while stopping in Florence the two dropped into a shop which was full of beautiful marble statues and statuettes. The Count picked up a statue of Charites the God of Charity, saying smilingly, "This is my ideal." Dr. Nitobe himself bought one of Pax, the god of Peace, which later, when he came home, he gave to the late Count Kodama, the great Chief of Staff in the Russo-Japanese war, and by a curious coincidence, says the Doctor, this same statue is now housed in the shrine dedicated to the illustrious soldier as its divine host.

THE GUARDIAN DIETY

Count Kodama was, it may be remembered, the man who singled out Count Goto as his right hand man in his administration of Formosa. It is an interesting combination that Count Kodama loved Pax so well that it became his guardian diety after his death, while his trusted lieutenant Count Goto found in Chrites his aspiring ideal, that he bought it as a memento of his sojourn in a far away land.

Count Goto was, says Dr. Nitobe, a loveable man being always ready to receive his enemy with open arms. Many were in the habit of regarding him as a man of tall talk; but there was something really big about him, great big heartedness wholly unapproachable by others. He once formed a plan of creating a charity quarter near the parliament building, where he intended to build homes for receiving the infirm and friendless old people, the crippled soldiers, and other helpless persons, by appropriating 50,000,000 yen out of the 200,000,000 taels indemnity taken from China. But he failed to persuade the Government to agree to the appropriation, and the scheme fell through.

It was at the time when Dr. Nitobe was in America and Count Goto earnestly at work as the chief of civil administration of Formosa. The Count sent a pressing invitation to the Doctor to come to the island as there was some enterprising work waiting for him. Dr. Nitobe accepted the invitation, came to Formosa, and found himself confronted by a request to draw up a plan of industrial regeneration for the island.

(To Be continued)

ORDER NOW!

THE FIRST ISSUE OF

The Japanese American Weekly

IS OUT

AN ENTIRELY NEW, 12 PAGE ISSUE WITH A FOUR PAGE ENGLISH SECTION

The regular subscription rates follow:

Single Copy	$ .15
One Month	.50
Six Months	2.75
One Year	5.00

For subscribers to The Japanese American News a special inducment will be made through the following rates:

Single Copy	$ .15
One Month	.35
Six Months	2.00
One Year	3.50

FILL IN AND MAIL AT ONCE

The Japanese American News
650 Ellis Street
San Francisco, Calif.

Gentlemen:

Please enter my name on your list of subscribers to The Japanese American Weekly.

My name is _____

Address: _____